

コミュニティ なるお



○発行日
2025. 7. 1

○発行責任
鳴尾連合自治会

○編集
コミュニティなるお
編集委員会

TEL. 47-0101



開校5年を経た西宮南高校

本校は、昨年度創立50周年を迎え、昨年11月にアミティ・ベイコムホールで記念式典を挙行しました。その節は、鳴尾地域の皆さまにも多数ご臨席を賜りました。あらためてお礼申し上げます。

昭和50(1975)年、西宮市内における進学希望者の増加を背景に、豊年製油鳴尾工場の跡地に校舎を、鳴尾浜埋立地をグラウンドとして開校



次の50年に向けて

兵庫県立西宮南高等学校

校長 吉野 浩司

しました。当時のことは、創立10周年記念誌に「創立当時は何も無い広大な埋立地に、ポツンとプレハブ校舎だけが建っているような状態」と記されています。

写真(左上)は開校から5年を経た昭和55年の卒業アルバムから転載したものです。本校の北側(写真右側)には建設中の武庫川団地「あおぞらのまち」が見えますが、その他にはまだ何も無い様子が見て取れます。武庫川団地「樹のまち」、高須西小学校、武庫川女子大学総合スタジアム、熊野の郷、阪神タクシー本社などに囲まれた現在とは隔世の感があります。

創立以来、当時実施されていた総合選抜制度のもとで、主に鳴尾地域の中学生を受け入れてきました。その後、入学者選抜制度は複数志願選抜と特色選抜に変更されましたが、現在でも約40%の生徒が地域内から通学しており、地

域と共に歩む学校として皆さまに支えられております。特に、高須地区の皆さまには、自治協議会、青愛協などを通して、ひとかたならぬご支援をいただいております。

さて、これから次の50年に向けて歩みを進めてまいりますが、今年度、「チャレンジ」「チェンジ」「コミュニケーション」の三つの「C」を大切な言葉として掲げました。その理由は、今後の社会は、いま以上に変化のスピードが速く、先の見通せないものになっていくことが予想されるからです。生徒たちには、自分で自分



創立50周年記念式典での生徒会長あいさつ

の可能性にふたをせず、多くのことに積極的に「チャレンジ」すること、新たな自分を見つけ、やりたい姿に自分を変えていく「チェンジ」、そして多くの人や地域とつながり、お互いを理解するなかで世界を広げる「コミュニケーション」の3点を意識させることで、自分の心に響く生き方や将来のあり方を見つけてほしいと考えています。そうすることで、変化の激しい時代にあっても、人生を主体的に生きていくことができるのではないのでしょうか。

創立時には、盛んに「開拓者精神(フロンティア・スピリット)」というスローガンが掲げられたと聞いております。何もないとともに未来を切り開いてきた当時とは異なりますが、どう変化するか予測がつかない中で未来を切り開く、第2の「開拓者精神」を持って生徒・職員ともまい進していきたいと考えています。

地域の皆さまには、どうか本校の将来に期待をしていただきますとともに、引き続きご支援をお願いします。

『宮っ子』鳴尾編集員がつづる

鳴尾新川を歩く

最終部

「鳴尾新川を歩く」も第4部を迎え、最終回となります。今回は国道43号から終点の鳴尾川までの風景を案内します。

この地域の新川は全て親水路で、右岸には多く緑があり、左岸は幅の広い歩行者用道路となっています。全体として国道43号と臨港線の大きな幹線道路に挟まれ、大規模なマンションや建物も多く、その街並みは鳴尾地域の中ではやや風情に乏しい景色ですが、エネルギーシユな印象となっています。

陸橋と巨大なオブジェ

第4部のスタートは、国道43号の陸橋でできたトンネルからです。

陸橋のトンネルといえば不思議な気もしますが、ここは北側から阪神高速3号神戸線、国道43号の3本の陸橋と阪神高速の武庫川出口のループ橋の合計5本の陸橋が1カ所に集まっており、その高架下はトンネルそのものです。それも自転車を通る人たちが自然と頭を下げてしまうほど地上すれすれの高さです。

ループ橋は、北側から国道43号の上を大きく横断して南側で国道43号の西行きに接続しています。それは、まるで龍がとぐろを巻いているようです。



ループ橋も巨大なオブジェ

この景観は街中に出現したコンクリートと鉄骨でできた巨大なオブジェです。

低いトンネルを抜け、新川を正面に見ながら左手の武庫川方向に向かうと、陸橋の側面に歩道橋のような階段があります。人の姿はなく、あまり利用されている様子はありませんが、そのまま階段を上り切ると、尼崎方向に向かっ

カモがいました



て遮るものがないまま、一直線に青空へ向かって国道43号が伸びています。歩道をしばらく進んで武庫川の真上に出ると、兩岸の緑の緑が美しく映え、河口に向かって雄大な景色と川を渡っていくそよ風が、心を癒やしてくれます。

トンネルに戻り、新川沿いを少し下ると途中、エサをついばんで

いる2羽のカモを横目に、2本目の小橋・遊覧橋を西へ歩くと笠屋町2丁目です。

コーヒープレーク

この地の新川には、合計で11本の小橋が掛っています。それぞれに、月見橋、遊覧橋などの名がつけられています。

武庫川女子大学街と、武庫川堤防を巡る

この辺りは武庫川女子大学の校舎が幾棟も連なっています。その外壁は濃淡2色のワインカラーの小さなレンガで統一され、美しいモザイク画のようです。夕日が当たる頃

は銀色に輝き、より一層美しく映えます。行き交う時たま、部活帰らしい学生が、2、3人のグループで弾んだ足取りで歩いていきます。そこはまるでキャンパスのようです。

新川に戻り、遊覧橋を渡ってなお武庫川へと進むと、堤防に沿って線路で分断された一群の墓地に突き当たります。「西宮市小松区有財産管理委員会」と書かれた看板があります。この墓地には、江戸時代に活躍した念仏行者で浄土宗の高僧・徳本上人の号碑があると記されています。

案内を読んでいる時、ちょうど墓地の間をピンク色の阪神タイガースのキャラクターが描かれた電車が走ってきて、なぜかほほ笑ましく感じました。



墓地の間を走る電車

墓地を過ぎて堤防の上に出ます。休日は、堤防の上の道路は歩行者天国になっています。ゆつくりと散策できます。

医療法人信和会 明和病院

〒663-8186 兵庫県西宮市上鳴尾町 4-31

TEL 0798-47-1767(代表)

0570-0-89470(患者さん専用)

ホームページ <https://www.meiwa-hospital.com>

親切で信頼される病院を目指します



めいわりハビリテーション病院 / 明和がんセンター / エレガノ西宮・めいわクリニック / 訪問看護センター明和 / 居宅介護支援事業所 併設

いいね！ 鳴るほど ザトピックス
LINE 明和病院 始めました
公式アカウント
友だち募集中心!!



●診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 腫瘍内科 腎臓内科 人工透析
内科 呼吸器内科 外科 消化器外科 小児外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 ペインクリニック外科 整形外科
リハビリテーション科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 小児科 耳鼻いんこう科 眼科 産婦人科 放射線科 麻酔科
臨床検査科 病理診断科 救急科 歯科 歯科口腔外科

コーヒープレーク

阪神武庫川線には写真のトラッキー号の他に、緑の甲子園号、黄と黒のタイガース号、黄と緑のTORACO号の全4種の阪神電車が走っています。

堤防からは、かつての鳴尾百花園跡に旧日本住宅公団が整備した鳴尾1団地の住宅街を一望できます。この地域では数少ない住宅街です。



都会の無人駅

堤防の坂を下りると、そこは阪神武庫川線の東鳴尾駅です。駅は無人駅で、朝夕のラッシュが過ぎると、手持ち無沙汰の乗客が、ひっそりと電車の到着を待っています。

新川の左岸から、みやこ市場を越えて臨港線へ

武庫川線の踏切を渡って真つすぐ進むと、新川の左岸に出ます。道は細く、家並みが岸に迫っています。「そんな家の2階から見ると川の眺めはどんなものだろうか。晴れた日には川面のキラメキが美し

く映えているのだろうか。魚影が瞬時にはかなく消えてゆくだろうか」と思う。

視線を上げると、見事な新緑が川面に大きな影を映しています。その向こう側には、正面の壁に大きく「天然温泉」と書いてある大衆浴場があり、その名の通り、湧き出る天然温泉が人気で、遠方からも入りに来るようです。

橋を渡ってなお西へ行くと笠屋町です。この辺りも数少ない住宅街となっており、町の中心はかつての「みやこ商店街」です。今は人の往来も少なく、左右に並んだ、長く味わいのある花のつぼみのような街灯だけが往時をしのばせています。

そのまま西に進むと、小曽根線の向こう、臨港線との交差点に角間公園があり、春には咲き誇る見事なフジの花を求めて訪ねてくる人も多そうです。

ポンプ場までの新川の流れをたどる

臨港線を渡り、新川へ戻ります。この新川は、隣接する関西電力の敷地から張り出した、さまざまな木々の葉陰

が水面に映り、春には桜並木と混じり合って、より一層新川の流れを優しくしています。鳴尾の東部を流れる新川の中でも、親水路の呼び名にふさわしい、最も心癒やされる場所です。



右岸の緑と親水路

そのまま行くと、小橋の三軒家橋で新川は西に直角に曲がっていて、やはり親水路らしく、優しく流れています。

最近まで、この辺りでは8月に「平和灯ろう流し」が行われていて、夏の風情を感じることができました。背びれが川面を揺らし、大きな多くのコイが泳いでいるのが目を引きます。

グラウンドの下を流れる新川



暗きよとなつてグラウンドの下を小曽根線まで約160m流れています。

この先、川は目の前に立つ鳴尾東小学校の校庭に向かって流れています。ここからは

小曽根線に出ると開きよとなり、ここからは鳴尾川となつて大型スパーの前を真つすぐに進み、交差点の手前で蛇行しながら南にある終点の上田南ポンプ場に至ります。



上田南ポンプ場

コーヒープレーク

上田南ポンプ場は昭和47(1972)年運転開始。目的は雨水排水と汚水中継で、枝川浄化センターで集中管理されています。

あとがき

第1部から4部まで、新川の流れを通して鳴尾東部の街を眺めてきました。国道2号、旧国道、国道43号、臨港線の幹線ごとに、街はその色合いを変えています。それはその街の歴史がつくり出したものだといえます。

地域の人たちは普段、そのように歴史を意識することはないと思いますが、新川の流れに刻まれた「時」を思うことで、読者の皆さんには、これからも郷土を愛する心を育んでほしいと願って、このシリーズを終えます。

鳴尾浜連絡会

〔鳴尾浜産業団地内に立地する企業で構成〕

健康で安心な地域を目指し次の活動を行っています。

環境保全(清掃活動)

周辺住民との融和と協議(自治会等との連携)

交通安全、防犯、防火、防災

団地内従業員の福利厚生

会長 小玉 友彦

西宮市鳴尾浜1丁目25番1〔テクオス株内〕

TEL 0798-46-5555

鳴尾北

第18回 六番町さくらまつり

甲子園六番町の八つ松公園で、4月6日に「六番町さくらまつり」が開催されました。当日は晴天で、多くの地区住民が参加し、咲き乱れる桜の木の下で楽しく過ごしていました。

初めに、平野新祐さんのアコーディオンの音色に乗って懐かしい曲の数々を演奏。そして、六甲男声合唱団が『おどるポンポコリン』などを披露しました。子どもたちは、「ビンゴゲーム」や「ボールでダーツ」など、夢中になって遊んでいました。



咲き誇る桜の木の下で、懐かしいアコーディオンの音色に聞きほれる



甲子園浜

浜甲子園団地ラジオ体操

浜甲子園団地中央広場で、年間を通して(正月を除く)毎朝7時からラジオ体操が行われています。これは、平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災以降、疲弊した地域住民のために、藤沢幸一さん(88)が主宰し、現在も継続されています。



(88)が主宰し、現在も継続されています。

昨年10月に開催された団地文化祭で、「住民の健康増進や連帯感醸成に大きく寄与された」と、浜甲子園団地自治会から藤沢さんへ感謝状が贈られました。

ラジオ体操前後の談話は、住民同士の大切な触れ合いになっています。



ラジオ体操前の談話

自然豊かな甲子園浜でシギ・チドリ観察会

南甲子園

甲子園浜は鳥類保護区に指定され、毎年4~5月は立ち入り禁止になっています。この時期、甲子園浜にはシギやチドリなどの渡り鳥が、遠く東南アジアからシベリヤに向かう途中にやってきて体を休め、貝やゴカイなどを食べ、栄養をつけています。

そんな渡り鳥を観察できる「シギ・チドリ観察会」が4月29日に開催され、43人が参加しました。

当日は好天に恵まれて、浜辺には家族連れや若いカップルで大にぎわいでした。参加者が堤防から双眼鏡や望遠鏡で観察する中、途中、立ち入り禁止区域に入り込む人がおり、野鳥たちが驚いて遠く沖の方に逃げ去ってしまい、観察に苦労する場面もありましたが、それでも野鳥が休む姿やエサをついばむ様子を見ることができ、参加者はうれしそうに観察していました。

野鳥撮影:
前野裕美子氏



▲イソシギ

甲子園浜の自然環境は地域の皆さんの努力で守られています



豊かな地域づくりのお手伝い。〈あましん〉

地域の文化・教育・環境など、元気な地域づくりに貢献します。

尼崎信用金庫
AMASHIN

<https://www.amashin.co.jp>



浜甲子園支店

〒663-8184 西宮市鳴尾町4丁目13番23号
電話(0798)40-6666 FAX(0798)40-6665

鳴尾東

姿を消したお地藏さま

近年、大きく街の姿が変わっていく「みやこ商店街」。多くの店舗が空き家となり、取り壊されて新しくマンションや、老人施設などが建てられています。

そのみやこ商店街の片隅に「みやこ地藏」がありました。地元の人たちに大事にされて約70年を経ましたが、今年の4月に撤去されたようです。別の場所に移されたのではなく、姿を消したのです。商店街にあったパルマートと呼ばれた市場の麺屋さんが、自分の子どものけがの多いことを心配し、他の発起人5、6人と資金を出し合って建立したそうです。

長い年月、この地にあって子どもたちの安全を見守ってきたみやこ地藏。ぽっかりと空いたその場所も、いずれは忘れられてしまうことでしょう。



長い間ありがとうございました

こいのぼり

高須

風に舞うこいのぼり



今年も三角広場の空に、大小のこいのぼりが元気に泳いでいます。

きっかけは、阪神・淡路大震災の後、兵庫県に「元気になってほしい」と多くのこいのぼりが寄贈されたことです。武庫川団地自治会・田邊繁会長は「三角広場の空で泳ぐようになったのは、平成10年ごろくらいからです。

現在も寄贈があったり、自治会で新調して、自治会役員や協力員たちが古くなったこいのぼりを入れ替えたりしながら設営しています」と話してくれました。

三角広場は、これからも子どもたちの声がこだまする元気な場所であってほしいです。

予告 8月1日(金)～3日(日)
お祭り広場で高須フェスティバルが開催されます!

小松

子ども食堂「まきちゃんち」



小曽根町の岸麻希さんは、昨年12月から自宅で月1回の子ども食堂「まきちゃんち」を始めました。PTA活動や補導委員として地域の子どもたちと関わりを続けて、「地域の子どもと大人がふれあう機会になれば」との思いから、友人たちに声をかけ、子ども食堂を立ち上げました。

基本的には毎月1回ですが、春休み中の4月は飲食店の寄贈を受けて5日間、お弁当をみんなで食べました。

5月11日には、母の日記念イベントとしてコープこうべ西宮東店2階の集客室で、ホットドッグの提供とカーネーションを作るイベントを実施。活動の幅が広がっています。

子ども食堂「まきちゃんち」

*毎月第1火曜日

(祝日の場合は、第2火曜日)

*16時～19時

*メニュー: カレー

(お食事は17時から)

*子ども: 無料 大人: 500円

*水筒持参



母の日イベントはホットドッグとカーネーション作り(写真上)。みんなで食べるとおいしいね

鳴4祭り～子ども縁日

鳴尾西

春休みの3月29、30日の2日間にわたって、鳴尾町4丁目自治会主催の「鳴4祭り」が自治会館で行われました。

29日は「子ども縁日」で、自治会の子ども銀行がプレゼントした100円券で、好きなお菓子を買ったり、輪投げや紙芝居を見て子どもたちは大満足。

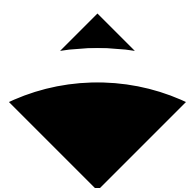


にぎわう会場



昔懐かしい生活用品がずらり

30日は地域の昔の写真の展示やかつて使っていた生活用品を並べて、昔懐かしい日を思い出してもらう企画。懐かしい顔ぶれが集い、大人たちも会話を楽しんでいました。



MAKE BEYOND つくるを拓く

株式会社 大林組

(大阪本店) ☎530-8520 大阪市中央区中之島3-6-32ダイビル本館 TEL 06-6456-7000(代)

3月7～21日までの2週間、西宮市立鳴尾図書館で開催した『宮っ子』なるお展」。大勢の来場者があり、アンケートにも多くの声が寄せられました。

その中で、地域情報誌『宮っ子』に期待する読者が多いことに気づきました。今後、意見を参考に誌面作りとアンケートから見えてきた『宮っ子』の地域コミュニティに果たす役割などを誌面で報告する予定にしています。

来場者の皆さま、クリエートにしのみや他、応援して下さった皆さまには、厚くお礼申し上げます。

第5回『宮っ子』なるお展を終えて



『宮っ子』なるお展の来場者アンケート(425通・回収率約80%)から多くのことが見えてきました。

来場者の質問にも編集員が対応しました



- ・入場者数は推定 531 人(前回同日数の 1 カ月換算で 1,040 人になり、過去約 2 倍強の入場数でした)
- ・これから地域を担う 40 代以下の若い世代の入場者も大幅に伸び(29%+11%)、50 代も入れると来場者の 41% にもなりました
- ・年代別入場者では、60 代 20%、70 代 26.8% が高く、アクティブシニア層の地域への関心が高い一面を垣間見ることができました
- ・図書館に来て初めて知った人も多く(60.8%)、「非常に良かった」と多くの声があり、コミュニティの場として図書館活用の参考になりました

来場者アンケートの声を一部紹介します!!

- いろいろな展示、場所がよく知れて良かった
(10 歳未満女性)
- なるお地域のことをいっぱい知れて楽しかった
(10 歳未満男性)
- 昔の阪神パーク、競輪場を取り上げてほしい(10 代女性)
- 昔の写真が見れて良かった(10 代男性)
- 全体的な配置とかきれいで良かった。文字のサイズを強調させたいものは大きくするとかも良いかなと思った
(20 代女性)
- 見やすかったです(20 代男性)
- 自分の住んでいる地域について詳しく学べて面白かった
(30 代女性)
- 子育てイベントを取り上げてほしい(30 代女性)
- 昔の地域のエピソードをお話してくれて面白かったです
(30 代女性)
- 宮っ子ではないですが、この地域に住んで 25 年くらいになります。とても暮らしやすい地域なので、引越しを考えていますが、この辺りで探しています
(40 代女性)
- もっと多くの人に見てもらいたい内容でした(40 代女性)
- いろいろなところでこのような展示をしてほしい
(40 代女性)
- いつも楽しみにしています。外から移住してきて良かったです(40 代男性)

- 子どもが参加できるイベント情報を掲載してほしい
(40 代女性)
- 初めて拝見しましたが、とても良かったです。各地区で取り上げていることが、それぞれ面白かったです
(50 代女性)
- 鳴尾の歴史を改めて感じ、郷土愛が増しました
(50 代女性)
- たまたま図書館に来た帰りに寄らせていただきました。『宮っ子』にいろんなページがあるのでびっくりしました
(50 代女性)
- 貴重なお話を伺いました(50 代男性)
- イベントや行事があることをあまり知らなかったこれから気を付けておきたい(60 代男性)
- とても良い企画だと思いました(60 代男性)
- 懐かしい記憶がよみがえりました(60 代女性)
- 情報量が多すぎて、映像も流れていれば良かった
(60 代男性)
- 思いがけなくうれしい時を過ごさせていただきました
(70 代女性)
- きめ細かなパネル記事で見ごたえあった。まだ転居して 2 年目で知らないことばかりでした(70 代男性)
- 町内の『宮っ子』の仕分け担当していますが、意外と見なかったりするので、しっかりと読みたいと思います
(70 代男性)
- 100 年といっても分からないですが、見える形にすると長いということがよく分かりました(80 代以上男性)
- 貴重な展示会でした。このまま充実させてください
(80 代以上女性)



心一つにして合唱しています

第1部

浜甲カンタービレ音楽会×なぎさハーモニー発表会

武庫川女子大学・音楽学部有志学生による「浜甲カンタービレ音楽会×なぎさハーモニー発表会」「スプリングコンサート」に心にあくハーマニーが、3月23日になるお会館で行われました。観客は、老若男女合わせて50人以上が、いろいろなジャンルの合唱を楽しんでいました。

第1部は、『花の街』『マイ

音楽のある街 in なるお③ ～鳴尾の合唱～

鳴尾地域にはいろいろなジャンルの音楽活動を通して地域活性化に貢献している人やグループが多くあります。その活動を紹介するコーナーです。3回目は合唱です。



レクリエーション『おにのパンツ』

第2部

バラード』『心の瞳』、第2部は、専攻科生の演奏とレクリエーションでした。

第3部は、『銀河鉄道999』『春よ、来い』『ありがとう浜甲』が披露され、盛大な拍手に包まれ終演しました。



『ありがとう浜甲』を聞き入る参加者

浜甲カンタービレ

浜甲カンタービレは、武庫川女子大学音楽学部有志によるボランティア団体です。地域貢献、社会連携事業として、平成24(2012)年より、同大学多田秀子准教授指導の下、浜甲子園団地の地域住民



なぎさハーモニー合唱団の練習風景

に、さまざまな形で音楽を提供しています。この活動は、兵庫県阪神南県民センター補助事業「令和6年度大学生による地域活性化支援事業」として採択されて行われ、年間8回、浜甲カンタービレ参加型の音楽会を開催しています。また、なぎさハーモニー合唱団の指導を、8月は4回、10・11・12月は3回、1・2月は2回、3月は3回と複数回行っています。

なぎさハーモニー合唱団

浜甲カンタービレの学生による指導の下、歌を歌ったり、楽器を演奏したりしながら、毎回異なる内容で、音楽共有型交流会をしています。今回の発表会では、第1部で、浜甲カンタービレの学生と一緒に、3曲を披露しました。世代を超えて、音楽を楽しんでいます。

令和7年度

鳴尾連合自治会総会を開催

鳴尾連合自治会総会が、5月28日に開催されました。

「鳴尾連合自治会表彰等に関する取り扱い要綱」に基づき、左記4人に表彰状と感謝状を授与しました。

◆表彰状

田中 一哉 池開町

◆感謝状

中西 隆道 池開町

春名 栄子 甲子園二・三番町

福本 護 小松西町

受賞おめでとうございます

◆令和7年度春の叙勲

「瑞宝双光章」

貴山 好江(あおぞらのまち)

◆兵庫県(感謝状)

川崎 洋光(上鳴尾町)

◆市長表彰

「わがまち賞」

岸 利之(甲子園一番町)

◆「青少年健全育成成功労者」

樋口 満(小松北町)

◆市制100周年記念

4月20日に左記の団体に感謝状が授与されました。

鳴尾連合自治会
高須自治協議会

なるお会館からのお知らせ
くちびつこあつまれ

「子ども向け」

楽しく学ぼう交通安全

交通安全の話が終わったら、みんなで一緒に「ピカッと光る安全キーホルダー」を作ります(無料)。

日時:8月1日(金)

午前10時開演(9時半開場)

会場:なるお会館3階集會室

講師:甲子園警察交通課

橋詰さん、由良さん

定員:50人

申し込み方法(参加費無料)

受付:7月1日(火)

20日(日)必着

往復はがきに住所、氏名、電話番号、人数(保護者と小学生以下の子ども限定何人でも可)を記入の上、

〒663-8184

西宮市鳴尾町3丁目8-7

なるお会館まで。

申込期間外のはがきは無効。

応募多数の場合は抽選の上、当

落をお知らせします

問い合わせ:なるお会館

☎0798-468200

祝日を除く火・金曜9:16時

の間に来館、または電話。

主催:公益財団法人 鳴尾会

鳴尾地区5公民館の講座案内


【★は申し込みが必要。いずれも先着順。特に表記がなければ来館受け付け。材料費は受け付け時徴収】

	月	日	曜日	時 間	内 容	講 師	問い合わせ先
	8	20	水	13:30～15:00	いん石の話 定員:100人 当日受け付け	大阪大学名誉教授 松田 准一	鳴尾公民館 Tel.47-3838
	7	12	土	13:30～15:00	救急救命 ～心肺蘇生法とAEDの使い方～ 定員:40人 当日受け付け(開始20分前より)	元西宮市消防局長 兵庫県防災士会理事 岸本 正	鳴尾東公民館 Tel.49-1300
★	8	21	木	13:30～15:00	夏休み工作教室 落とし穴でスリル満点「立体ビー玉迷路」 定員:20人 申し込み:7/18(金) ～来館及び電話にて受付、平日の9時～17時 持ち物:筆記用具、持ち帰り袋(31cm×28cm×7cm) 対象:小学生 材料費:200円(当日徴収)	つくらぶひろば 藤本 直美	
	7	26	土	10:00～11:30	子ども子育て講座 絵本っていいな！ 子どもから大人まで…心がほどける絵本って？ 定員:40人 当日受け付け 対象:未就学児・小学生～大人まで	西宮市学校図書館教育指導講師 絵本講師 奈良教育大学非常勤講師 曲里 由喜子	学文公民館 Tel.41-6050
★	8	5	火	13:30～15:30	子ども子育て講座 じいちゃん的工作教室 水てっぽう、スーパーロケット、風ぐるま、どんぐりのストラップ他 定員:30人 申し込み:7/22(火)9:30～11:00 来館にて受け付け 対象:年中～小学生 材料費:400円(申込時)	じいちゃんの手づくりおもちゃ代表 牧本 繁満	
	7	17	木	14:00～15:30	健康講座 介護予防・認知症予防 ～椅子に座ってできる有酸素運動～ 定員:40人 当日受け付け	日本総合健康指導協会 杉谷 まきこ	高須公民館 Tel.49-1312
	8	21	木	14:00～15:30	地球科学講座 「地震の話」 定員:50人 当日受け付け	大阪大学名誉教授 松田 准一	
【地域医療講座】 講師：明和病院医師など (明和病院の協力を得て開催している講座です)							
	8	8	金	14:00～15:30	地域医療講座 「感染症対策」 ～今日からできる感染症対策～ 定員:60人 当日受け付け	感染防止対策室 感染管理専従看護師 奥田 久美子	鳴尾公民館 Tel.47-3838
	7	10	木	14:00～15:30	健康講座 塩分の減らし方 ～正しく知って取り組もう～ 定員:60人 当日受け付け(開始20分前より)	栄養課 管理栄養士 森本 早織	鳴尾東公民館 Tel.49-1300

2025年度武庫川女子大学附属総合ミュージアム展示スケジュール

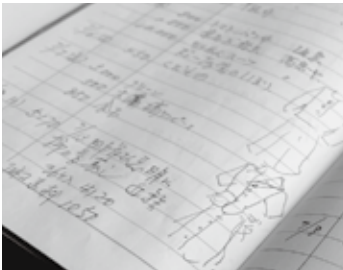
企画展／5階ギャラリー

春季展「モノ×ことわざ展」
5月14日(水)-7月2日(水)



『重箱の隅をつつく』
赤小型重箱
(附属総合ミュージアム蔵)

秋季展「中田家コレクション
静さんの家計簿展(仮)」
10月1日(水)-12月3日(水)



中田静さんの家計簿
(附属総合ミュージアム蔵)

博物館学芸員課程実習展 12月15日(月)-19日(金)

常設展示コーナー／1階ロビー

登録有形民俗文化財「武庫川女子大学近代衣生活資料」

春季展 4月11日(金)-6月13日(金) 夏季展 6月27日(金)-8月29日(金)

秋季展 9月16日(火)-12月19日(金) 冬季展 1月16日(金)-3月13日(金)


主催 | 武庫川女子大学附属総合ミュージアム

プラネタリウムで
夏の星座を見つけてみよう!★

鳴尾まつりで、プラネタリウムを使って夏の
大三角形のを見つけ方を紹介します。

日時 2025年7月26日(土)
16:00-20:30

場所 西宮市立鳴尾小学校
ランチルーム
(西宮市鳴尾町5丁目4-6)



武庫川女子大学附属総合ミュージアム
Mukogawa Women's University Museum

〒663-8184 兵庫県 西宮市 鳴尾町1-10-21
TEL|(0798)45-3509 HP|<https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum/>

広告